

株式会社 白水産業

各種樹脂・ゴムの加工で
豊富なノウハウ海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

本社工場内で並ぶ機械群

業務
内容
ユニークな業態、
取引先は200社超

プラスチックの切削を中心に、ゴム・ウレタン成形加工など、合成樹脂の汎用品から高付加価値品、一品物から量産品まで幅広く手がける。ある程度の設備と人員を抱えて、合成樹脂加工を中心にする同業者は全国でも少ないため、取引先は広域で、200社を超える。

加工品は製造ラインの治具・部品、機械の部品など用途はさまざま。金属加工と同じでマシニングセンター（MC）を12台、さらにNC（数値制御）旋盤・フライス盤などの設備を有し、外注先との連携で、射出成形、部品の組立にも一括対応する。ウレタン樹脂、ゴムは社内にて注型・加熱・仕上げの設備を備え、ガイド部品、保護用部品などを高品質・短納期で生産する。



ゴム・ウレタン工場の作業エリア

強み
大手顧客と直接対話、
職人技と品質管理に力

大手顧客の開発や生産技術の部門とパイプを持ち、企画段階から直接対話で要求に応えている。「機械設備の豊富さと、職人の手作業が仕上げの品質を左右する」と中島範久社長は語る。リチウムイオン電池の製造ラインで使う樹脂機構部品は代表例。受注から3〜4ヵ月内で数万個を納入する生産力と、複数の樹脂部品と金属部品を精密に組み付け、きめ細かい品質管理で、受注を伸ばしている。

品質維持のため、「正しい材料」、「正しい情報」、「正しい設備・計測機器」、「正しい作業方法」の4要素を現場で徹底。製品検査部門は専任2名を置き、

全体の不良発生率を0・5%に抑えている。

問題
解決
合成樹脂加工においては
難題の駆け込み寺

樹脂加工の駆け込み寺のような存在で、一例として顧客から、あるシリコン材料を用いて離型性の良い部品を作ってほしいという依頼があった。

その材料は、もろい物性の難加工材で、加工できる会社が見当たらないと頼ってきた。2年間の試行錯誤の結果、材料選定そのものに誤りがあり、別の材料による解決法を回答。それで完成・納入となった。こうした対応は直接的な利益にはならないが、顧客とのパイプを太くすることにつながっている。このほか高機能樹脂により金属を代替するノウハウも豊富。

今後の
展望
外注ネットワーク拡充、
差別化技術に磨き

顧客からの急ぎの依頼に対応する力を一段と強化する。顧客は製造ラインを短期で垂直立ち上げる傾向にあり、その要請に応じて、小規模の同業者とネットワークを組んで対応力を高めていく計画。またシリコン樹脂の採用が広がる市場の動きに応じ、4軸制御の加工法などの確立にも取り組んでいる。

仕事の身は変わりつつも、樹脂加工の案件は国内で絶えず出てくると見ている。顧客ニーズに対応する中で、業態も柔軟に変化させていく考え。「小さな仕事の風呂敷をたくさん持っている会社だが、どの風呂敷が大きくなっているのか、我々が決めるものではない。それより対応力を高めるだけ」と中島社長は語る。

COMPANY PROFILE

株式会社 白水産業

大阪
27ISO 9001
ISO 14001当社の
歴史

父親である先代の中島徹吉が大阪市内でコンベヤーベルト事業で創業。プラスチック加工の依頼を受けるようになり、昭和60年にマシニングセンター（MC）の第1号機を導入。翌年にポリウレタン成形・注型・研磨加工も始めました。平成9年に大阪府東大阪市内で現本社工場を完成、順次増強してきました。

持続可能な社会への発展を目指して地球環境や社会との調和で地球市民の生活を「より豊かに」、「より幸福に」。

代表取締役 中島 範久さん



■主な事業内容

FA機構部品の軽量化、低コスト化を実現する樹脂・ゴムによる部品・治具

■主な取引先（納入先）

電機機械器具製造業、自動機械製造業、大学等研究機関

住所／〒577-0065
東大阪市高井田中
4-5-12
TEL／06-6783-0388
FAX／06-6783-0555
創業／昭和55年9月
設立／昭和55年9月
資本金／1,000万円
従業員／43名

<http://www.hakusuisangyo.co.jp>